

活動報告

| | |
|------------|--|
| 団体名 | 益城だいすきプロジェクト・きままに |
| 活動名 | 熊本豪雨災害支援プロジェクト～民間ボランティアセンターの試み～ |
| 活動期間 | 2020年7月5日～2021年6月30日 |
| 活動の成果 | <p>ここ近年自然災害は頻繁に起きている。コロナ禍で外部からのボランティア活動が難しい状況においては地元の共助が必要となる。公的なボランティアセンターだけでなく今回実施した身近な所で民間ボランティアセンターの役割を担う事により、避難所には行けない、行きたくない被災者のニーズに答えることが出来た。支援物資の配布についても被災者の顔が見えることが日々変化する被災者の声に耳を傾けることが出来た。</p> <p>またボランティアに来た人には、必ず炊出しの現場に行ってもらった。被災現場を見ること、被災された人たちにお声をかけることにより、痛みの共有ができ、寄り添うことが出来た。被災者の安心にもつながったように感じた。熊本地震を経験した当団体のメンバーが活動することにより、避難者のこころの動きに寄り添うことが出来たと感じている。</p> <p>今後あってはならない災害ですが、被災者の声の届く身近な拠点があれば、すこしでも寄り添うことが出来ることを実感しました。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | みなさまからの温かいご支援のおかげで、被災地での活動が出来ました。本当にありがとうございました。感謝申し上げます。みなさまからの温かいご支援のバトンを繋げる活動をこれからも展開してまいります。 |